

《担当者名》近藤 尚也 n-kondo@hoku-i-ryo-u.ac.jp

【概要】

アダプテッド・スポーツについてその考え方を理解する。障がいやパラスポーツ、安全管理等に関する基礎的な知識や障がい者に対応するための基本的な技術、地域に住む障がい者を運動やスポーツへと導くための基礎的力を身につける。地域の大会や行事に積極的に参加し、地域のパラスポーツ振興を支えるための力を身につける。

【学修目標】

- 1 アダプテッド・スポーツの考え方について説明できる。
- 2 アダプテッド・スポーツ、パラスポーツの魅力を伝えることができる。
- 3 障がい者の地域におけるスポーツ参加を促進できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス アダプテッド・スポーツの理解	アダプテッド・スポーツの考え方について説明できる。 パラスポーツ指導者制度について説明できる。	近藤
2	スポーツとインテグリティ	スポーツ・インテグリティを脅かす要因や諸問題について理解できる。スポーツ指導に求められる資質や指導する際の役割を説明できる。	近藤
3	障がい者にとってのスポーツの意義と理念	障がい者個人における身体的、精神的効果を概説できる。スポーツを通じた共生社会の創造をイメージできる。パラスポーツの理念を説明できる。	近藤
4	全国障害者スポーツ大会の概要	全国障害者スポーツ大会の歴史、目的を説明できる。大会実施競技について理解できる。	近藤
5	北海道における障がい者のスポーツ参加推進の取り組み	地域におけるパラスポーツの推進の現状と課題について理解できる。指導者資格取得後の活動についてイメージできる。	近藤 菅原夢乃（特別講師）
6	安全管理	スポーツ活動における安全配慮について理解できる。基礎的な応急手当について、その必要性を説明できる。	近藤
7	身体障がいとアダプテッド・スポーツ	身体障がいがある方への指導上の配慮点について説明できる。	近藤
8	高齢者とアダプテッド・スポーツ	加齢による障がいがある方への指導上の配慮点について説明できる。事例を通して安全管理についてイメージできる。	近藤
9	知的障がいとアダプテッド・スポーツ	知的障がいがある方への指導上の配慮点について説明できる。	近藤
10	障がい者との交流	スポーツ活動をしている障がい者とふれあい、障がいについて理解できる。（学外授業）	近藤 木村純一（特別講師）
11	アダプテッド・スポーツの実際	スポーツ活動をしている障がい者とのコミュニケーションやふれあい、また、スポーツにおける工夫の実際を体験する。（学外授業）	近藤 木村純一（特別講師）
12	精神障がいとアダプテッド・スポーツ	精神障がいがある方への指導上の配慮点について説明できる。	近藤
13	アダプテッド・スポーツとコミュニ	よい人間関係を作るために必要なコミュニケーション	近藤

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	ケーション	スキル、ソーシャルスキルの基礎を身につける。障がい特性に応じたコミュニケーションをイメージできる。	
14	障がいに応じたアダプテッド・スポーツ1	アダプテッド・スポーツを安全に楽しむためのルールや用具の工夫について検討できる。(実技)	近藤
15	障がいに応じたアダプテッド・スポーツ2	アダプテッド・スポーツを安全に楽しむためのルールや用具の工夫について実践できる。(実技)	近藤

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

参加態度 50%、レポート課題 50%

【教科書】

障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）- 2020年改訂カリキュラム対応 - ぎょうせい
 全国障害者スポーツ大会競技規則集（公財）日本障がい者スポーツ協会

【参考書】

教養としてのアダプテッド体育・スポーツ学 齊藤まゆみ 大修館書店

【備考】

「初級パラスポーツ指導員」の認定科目であり、資格取得には本科目すべての授業を受講する必要がある。科目の一部分については実際に地域へ出て障がいがある方との交流を行うが土日を活用するため留意すること。

【学修の準備】

授業の準備として、パラスポーツについてテキストを読み予習をしておくこと（80分）。毎回の講義資料を参考に、その内容について読み返し復習を行うこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3,5

【実務経験】

中級パラスポーツ指導員

【実務経験を活かした教育内容】

アダプテッド・スポーツ、パラスポーツのイベント等に関する実践経験を活かして講義を行う。